

# 大会運営に関する注意事項

## 1. 競技方法

大会名・参加制限	ブロック数	試合形式等	備 考	参加料
1. 京都府高等学校総合体育大会(南部):参加制限なし (インハイ個人戦単ブロック予選を兼ねるため、前年度新人大会個人戦ベスト32以上の選手は免除)	男:D4~6 S5~7 女:D7~9 S8~10 参加数によって変動する (両丹を除く)	京都府高体連学校別総合得点のバドミントン競技総合順位決定方法 各トーナメント5位(ベスト8)以上の選手の学校に下記の得点を与え、学校別男女別に総合順位を算出する。 1位:8点 2位:7点 3位:6点 5位:4点	各ブロックを2つのゾーンに分けてトーナメントを行う。したがって、各ブロックで2人の優勝者が出る。	単:無料
2. インターハイ(個人戦) 府予選:参加制限なし	同上	前年度新人大会個人戦ベスト32以上の単複は直接府下大会に出場(複有資格者内組替可)	各種目・各ブロックともベスト16以上が府下大会に出場できる。(複はベスト8・単はベスト2決定まで試合を行う)両丹の府下大会出場数は単複とも16(予選免除有資格者人数を除く)。	複:1組1800円
府下大会		前年度新人大会個人戦ベスト32以上とブロック予選通過者で行う。<第1・2日目:単・複予選ラウンド>ブロック予選通過者と前年度新人大会個人戦ベスト32の選手によるトーナメントで、決勝ラウンドに進む16組・16人を決定する。<第3日目:複決勝ラウンド>予選ラウンド勝ち上がりの16組と前年度新人大会個人戦ベスト16以上の組によるトーナメントを行う。ベスト4以上はリーグ戦を行い代表を決定する。<第4日目:単決勝ラウンド>予選ラウンド勝ち上がりの16人と前年度新人大会個人戦ベスト16以上によるトーナメントを行う。ベスト4以上はリーグ戦を行い代表を決定する。	府下大会ベスト4のリーグ戦試合順序 1. ①A-B、②C-D 2. ①の勝者-②の敗者、②の勝者-①の敗者 3. 残り試合 代表(1・2位)決定後の試合は打ち切り。複においてベスト32以上の有資格者で組み替えた場合、ランクは下位の者のランクになる。(例)新人ベスト4とベスト32で組み替えた場合はベスト32の位置づけとなるので、府下大会は初日の予選ラウンドから出場しなければならない。	単:1人900円
3. インターハイ(学校対抗) 府予選:男女各1チーム	1ブロック3~4校とし(両丹を除く)、決勝トーナメントの参加数が両丹を入れて36チーム以内になるようブロック数を調整する。ただし、会場の面数によって変動する。	前年度新人大会(学校対抗)ベスト4以上のチームは、直接府下大会に出場する。	各ブロックとも総当たりのリーグ戦を行い、上位2校が府下大会に出場(両丹は参加校数÷2を四捨五入した数で、前年度新人大会ベスト4を除いた数)。	1チーム7000円
府下大会		3位決定戦は行わない。2日目のメンバー変更はできない。		1チーム5000円
4. 近畿大会府予選:単複5		<第1・2日目>各種目ともベスト8決定までを行う。また、9位決定戦を行う。<第3・4日目>各種目ともリーグ戦により1位~12位までを決める。	本大会出場者:ベスト8以上の単・複 9位決定戦勝者の単・複(9位決定戦では、同一校が当たらないよう配慮する)両丹の予選出場数は単複とも16とする。	複:1組1800円 単:1人900円
5. 新人大会兼近畿選抜大会(学校対抗)府予選:男女各1チーム	1ブロック3~4校とし(両丹を除く)、決勝トーナメントの参加数が両丹を入れて32チーム以上になるようブロック数を調整する。		各ブロックとも総当たりのリーグ戦を行い、上位2校が府下大会に出場(両丹は参加校数÷2を四捨五入した数)。	1チーム7000円
府下大会		3位決定戦を行う。2日目のメンバー変更はできない。		1チーム5000円
6. 新人大会個人戦 単12・複8	男:5~6 女:5~7 参加数によって変動する (数字は両丹を除く)	本年度近畿大会予選ベスト16以上は直接府下大会に出場する。(複有資格者内組替可)	各ブロックともベスト16以上が府下大会に出場できる。(ベスト8まで試合を行う)両丹の府下大会出場数は単複とも16(予選免除有資格者人数を除く)。	複:1組1800円 単:1人900円
府下大会		3位決定戦を行う。		